

令和4年第12回甲賀市教育委員会（臨時会）会議録

開催日時	令和4年8月23日（火） 午後2時00分から午後2時58分
開催場所	甲賀市役所 5階 第4委員会室
出席委員	教育長 西村 文一 教育長職務代理者 松山 顕子 委員 野口 喜代美 委員 山脇 秀錬 委員 藤田 浩二
事務局出席者	教育部長 山本 英司 次長（社会教育担当） 田村 勝也 次長（総務・管理担当） 松本 忠 次長（学校教育担当） 村地 昭彦 理事員 平井 茂治 教育総務課長 田原 聖史 学校教育課長 前田 正 教育総務課主査 西川 蓉子
書記	歴史文化財課参事 桑田 美佐登
傍聴者	なし

議決・報告事項は次のとおりである。

1. 報告事項

(1) 教科用図書第二採択地区協議会の経緯について

2. 協議事項

(1) 議案第60号 令和5年度甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択について

(2) 議案第61号 令和4年第4回甲賀市議会定例会（9月）提出議案に係る教育委員会の意見聴取について

◎教育委員会会議

〔開会 午後2時00分〕

次長（総務・管理担当） 改めまして、こんにちは。本日は何かとご多用の中お集まりいただきましてありがとうございます。

ただ今から、令和4年第12回甲賀市教育委員会臨時会を開会いたします。まず始めに甲賀市市民憲章の唱和を行います。皆様ご起立ください。

（一同 市民憲章唱和）

次長（総務・管理担当） ありがとうございます。ご着席ください。

それでは、開会にあたりまして西村教育長からご挨拶を賜り、引き続きまして議事の進行をお願いいたします。

教育長 改めまして、みなさん、こんにちは。

相変わらず厳しい残暑が続いていますが、8月もあと1週間余りとなり、田んぼも緑から黄緑へ、さらに黄金色へと色づくともに、稲穂も実り、間もなく稲刈りが始まろうとしています。

委員の皆様方には大変お忙しい中、令和4年第12回甲賀市教育委員会臨時会にご出席いただき、ありがとうございます。

夏休みは、市内中学校においては今月末日まで、また小学校では28日までとしており、授業時数の確保のため、小学校は中学校より

3日早く学校が始まることとなります。

全国的にも新型コロナウイルスの感染者数の高止まりが続き、依然として心配な状況ではありますが、2学期当初からの学校生活においても、これまで通り、感染防止対策を第一として、児童生徒の健康や安全の確保と学習や活動の保障の両立に努めてまいりたいと考えているところです。

また、先週の17日から18日にかけてと、昨日未明には、本市において大雨などの警報が発令され、そのことに伴って、警戒レベル3・高齢者等避難を発令したり、早期避難場所を開設したりするという対応を行いました。警戒体制が敷かれる中、私自身も17日夜から18日朝までは、市役所待機をいたしました。幸い、市内において大きな被害は報告されませんでした。近年の気候変動によって生じる急激な天候の変化にしっかりと対応できる体制がとれるよう備えておくことが必要であると改めて感じました。

本日の会議におきましては、報告事項1件と協議事項2件についてお願いをいたします。

その中の報告事項と協議事項(1)は、令和5年度に使用します甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択に関するものであります。去る7月28日に開催されました第二採択地区協議会において選定された教科用図書について、本日はご意見・ご質問をいただき、本市における採択についての議決を行います。

委員の皆様のご慎重なご審議をお願いし、開会にあたっての挨拶いたします。

どうぞよろしく願いいたします。

教育長

それでは、議事に入る前に、本日の案件で、2. 協議事項(2) 議案第61号 令和4年第4回甲賀市議会定例会(9月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取については、現時点では議会提出前になりますので、非公開とするべきと考えます。非公開とすることにご異議はございませんでしょうか。

(全委員 異議なし)

教育長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定に基づき、3分の2以上の賛成を得ましたので、非公開とさせていただきます。

教育長 それでは、日程に従いまして議事に入らせていただきます。1. 報告事項(1)教科用図書第二採択地区協議会の経緯について事務局より説明をお願いします。

次長(学校教育担当) 経緯説明に入る前に、配布資料の確認を行います。一つめは、資料1の議案第60号に関する内容でございます。二つめは、別紙1の表題が「教科用図書第二採択地区協議会規定」の冊子でございます。三つめは、別紙2の「令和4年度教科用図書第二採択地区調査委員会 報告書」の冊子でございます。よろしいでしょうか。では着座にて説明させていただきます。

では、本日までの経緯については「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」の規定により、採択地区協議会が設置され、この協議会で行われた教科用図書選定の結果に基づき、各市町教育委員会で年度ごとに採択することになっており、本日の臨時教育委員会において決定いただくこととなります。

別紙1の1ページから2ページをお開きください。本市が所属する教科用図書第二採択地区協議会の規定を載せております。この協議会は草津市、栗東市、守山市、野洲市、甲賀市、湖南市の6市で構成されており、それぞれの教育長、教育委員代表、保護者代表を委員とする協議会です。この協議会において、第二採択地区内の各市立小中学校で使用する教科用図書が選定されます。3ページが本年度の協議会委員の皆さまです。

4ページをお開きください。4ページが今年度の経緯となっております。

本年度は、小中学校の特別支援学級一般図書の採択替えを行う年です。

次に、小学校の通常学級については、令和元年度が採択替えの年でしたので、令和2年度から令和5年度までの4年間、同じ教科用図書

を使用することとなっており、来年度が採択替えの年となります。

また、中学校の通常学級については、令和2年度が採択替えの年でしたので、令和3年度から、令和6年度までの4年間、同じ教科用図書を使用することとなっています。

現在までに、協議会を2回、代表協議会を1回、幹事会を臨時も含めまして4回開催しました。併せて、5月24日（火）から6月末にかけて、各市より選出した調査委員による調査委員会を開催し、厳正かつ精密な調査を行いました。7月28日の協議会では、各調査委員より調査報告を受けて選定し、第二採択地区としての議決を行いました。以上でございます。

教育長           ただ今、本日までの経緯について事務局から説明がありましたが、何かご質問などはございませんか。

（全委員 質問等なし）

教育長           それでは、2、協議事項（1）議案第60号令和5年度甲賀市立小中学校使用教科用図書の採択についてに移ります。

去る7月28日に行われました第2回の教科用図書第二採択地区協議会の審議ならびに選定について、事務局より説明をお願いします。

なお、この後の進め方についてであります。1番目に「小学校特別支援学級の一般図書」について、2番目に「中学校特別支援学級の一般図書」についての審議を行います。

それぞれの説明の後、ご質問、ご意見をいただき、最後に採択の議決を図ることにしたいと思うのですが、異議はございませんか。

（全委員 異議なし）

教育長           それでは、協議会におきまして、調査委員長より報告されました調査結果の概要について、事務局より説明願います。まず小学校特別支援学級で使用する教科用図書について説明をお願いします。

次長（学校教育担当） 特別支援学級の使用図書につきましては、事前にも目を通していただいております。小学校特別支援学級で新たに選定された使用図書について説明いたします。別紙1では7ページから、別紙2では17ページからご覧ください。

特別支援学級で使用するものについては、学校教育法附則第9条の規定により、文部科学省著作本と検定本以外にも、絵本などの一般図書からも選定することができます。知的障害学級用について、今回は社会科1冊、理科2冊、道徳科1冊について選定された計4冊が供給不能となったため、一般図書から補充することを中心に作業を行い、今年度使用している図書に加え、社会科においては『まちのしくみ バックヤード絵ずかん』、理科においては『どんどんめくってはっけん！ からだのふしぎ』そして『小学館の図鑑 NEO〔新版〕科学の実験 DVDつき』、道徳科においては『3さいのやさしい心をはぐくむ10のお話』の4冊が選定されました。

当採択地区内における知的障害特別支援学級の障害の程度は様々であり、支援の内容は多岐にわたっていることから、これらの児童に可能な限り対応できるように配慮しました。選定した各図書は、学習指導要領に示された教科の目標や内容を踏まえており、児童の発達段階に対応し児童が親しみをもって意欲的に学習に取り組み、その効果が期待できるものとししました。

来年度、新たに選定した図書については、別紙1の7ページから9ページで網掛けをして区分けをしております。別紙2の19ページをご覧ください。それぞれの教科の具体的観点①から⑤までが示されています。これら5つの具体的観点到値するかについて一般図書の調査を行いました。

それでは1冊目からご説明いたします。 別紙2の25ページをご覧ください

【社会科】(1)「まちのしくみ バックヤード絵図鑑」東京書籍について、①児童の身近にある施設や店舗(駅・ビル・回転寿司店・スーパーマーケット・動物園)の仕組みや工夫を知ることができる本であり、通常は児童が入ることができないバックヤードを題材にしているので、児童の興味や関心を一層高める内容になっています。

②身近な生活に近いものを題材にするとともに、基本的な情報に限定して記載されており、それぞれの施設の職員の役割や仕事内容を細

かく知ることができるので、これらをきっかけにして3・4年生の社会科学学習に広げていくことができます。

③自分自身の生活体験と照らし合わせることで、自立に向けた学習につながり、校外での体験的活動に先立つ学習に活用することができます。

④それぞれの施設の最初のページには、もっと知りたくなるような投げかけやクイズが書かれているので、興味を持って読み進めることができ、それぞれのめあてを設定するのにも役立ちます。

⑤カラーの写真やイラストが多く、イメージを抱きやすく、探している情報を見つけやすい構成になっています。

続いて【理科】(1)「どんどんめくってはっけん！からだのふしぎ」学研プラスでは、①自分で見ることのできない体の中の働きが、わかりやすいイラストと平易で少ない分量の文章で表されており、児童が自分の体の実感をもとにして考えることができます。

②「食べる」「生きる」「感じる」「脳」「骨と筋肉」「成長と治す力」という6つのテーマで構成され、クイズや問いかけを受けて考える仕組みになっています。

③上記のテーマは、日常生活で実感できることからで具体化されており、吹き出しやページをめくる度に理解や納得が深まるように作られています。

④すべて平仮名で表記され、平易な言葉で表現されており、繰り返しめくる部分の破損は避けられませんが、ページは厚く、全体は堅牢な造りになっています。

⑤明るい色調でわかりやすいイラストが描かれており、めくる度に答えがわかり、興味をそそられる工夫が100箇所以上設けられています。

続いて理科の2冊目、(2)「小学館の図鑑NEO 科学の実験 あそび・工作・手品」小学館では、①身近な事象を取り上げたおもしろ実験あそびを教員が選び出し、約200種類が掲載されています。児童の興味・関心や学級の実態に応じて選択し、実験による実感を伴った

納得や理解を深めることができます。

②6つのジャンルで構成されており、「光と音」「温度と熱」「力・電気・磁石」「水溶液・酸とアルカリ」「おもしろ実験」「びっくり手品実験」の中から選択し、目的や方法を理解した上で実際の変化を目のあたりにできるようになっています。

③自然現象や日常生活上の経験から身近な実例が取り上げられているとともに、身の回りの素材で準備が整うように計画されており、事例が多いので、児童が身近に感じる実験を選択することができます。

④漢字にはすべてルビがついており、平易な言葉で、わかりやすい説明がなされており、科学の原理や安全確保の心構えを学ぶことも大事に扱われ、大人へのアドバイスも記載されていて、指導の役に立つと思われます。

⑤大判の写真や一瞬をとらえた写真が豊富に掲載されていて、わかりやすく親しみやすいイラストとともに、興味・関心を高める効果が高い。また、附属DVDを授業に活用することもでき、造りは堅牢となっています。

【道徳科】(1)「3さいのやさしい心をはぐくむ10のお話」世界文化社では、①相手のことを思って自分のできることを実行する主人公の姿から、その「優しさ」が伝わってくる内容になっており、わかりやすいストーリーを味わいながら、自分の経験と照らし合わせながら考えを深めることができます。

②ひとつのお話が五つの場面で構成されており、計十話が掲載されています。それぞれのお話は児童の理解力や集中力に応じた内容と文章量であり、児童の意欲を高めることができます。

③どの画面もかわいらしく上質な絵で描かれており、児童の想像が広がりやすく、親しみやすい登場人物にも好感が持てます。

④文章は平仮名の大きな文字で書かれていて、カタカナにもルビがふってあり、児童にも読みやすい表記となっています。また、児童にわかりやすい平易な言葉で書かれています。

⑤見開きの大きな画面で、絵本のような仕立てとなっており、タイ



トルの下に書いてある大人向けの解説は、発問や展開を考える手立てにもなります。

なお、弱視学級については、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

教育長 　　ただ今、小学校特別支援学級について説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

藤田委員 　　小学校道徳科「3さいのやさしい心をはぐくむ10のお話」は、五つの観点にもあるように、日常生活特に身近な生活体験が馴染みやすく題材にされていますので、表記、表現もわかりやすく、写真や挿絵などが上手に使われおり、視覚支援として見てわかるものでありとてもよいと思いますが、本のタイトルに「3さいの」と書かれており、小学校で学ぶ子どもたちにとって、適切なタイトルであるかどうか気にかかるところですが、いかがですか。

次長（学校教育担当）　　これまで、知的障害学級で学ぶ子どもたちに使用する教科用教材は、学年相当のものを使う場合もあれば、発達段階に即したものを使用するために実情より下学年の教材を使用することも多くあります。今回の選定図書は、タイトルにこそ「3さい」と表記されていますが、内容的には、観点到照らし合わせてふさわしいものと考え選定されました。

藤田委員 　　わかりました。わかりやすいストーリーで身近な題材が使われていますので、児童の理解力、集中力に応じた内容で、適度な文章量であり、内容としてはふさわしいと思います。児童の学びたい取り組みたい気持ちに柔軟に活用していける使い方ができるとよいと思います。

教育長 　　その他にご質問やご意見はありませんか。

野口委員 　　小学校社会科についての質問をします。「まちのしくみ　バックヤード絵図鑑」について、「バックヤード」というと「裏側」というイメージがありましたが、実際見てみると表にある情報と表裏一体化されてどちらも大事であるという視点が出ていて感動しました。また働く人の姿がいろいろな場面に出ているのですが、男性や女性がどういう職

場でどんなスタイルで働いているかが表現されていたり、駅で車いすを使う人たちが自然な形で乗り降りをしている場面があり、これは共生社会の大事なところがしっかり描かれていると感じました。一点、気になるところとして、イラストの表現方法が点描のような淡い色使いとなっており、視覚的に見えにくい子どもにとってはこの淡さやイラストの表現方法はどうかと疑問に思いました。調査委員会が出た意見があれば教えてください。

次長（学校教育担当） 確かにご指摘のとおり。点描に近い特徴的な表現であり、子どもたちにとって視覚的理解を促す効果は適切かどうかとの意見は出されていました。それぞれのページにイラストと写真を組み合わせることで、注目させるところや、イメージを膨らませるところなどのポイントを差別化させることで、全体の構成効果を高めているとの報告を受けています。

野口委員 差別化というのは、他のところと明らかにこのような特徴があるのだということを明確にするための一つの方法だということがわかりました。もう一つこの図鑑で、見開き2ページの中には情報が満載です。今イラストや写真について出ましたけれど、できれば子どもたちがじっくり読み解きながらこの資料を使っていただくと、情報が満載で工夫や秘密がこの中にたくさん見つかる図書であると思います。

教育長 その他にご質問やご意見はありませんか。

教育長職務代理者 小学校理科についてお聞きします。「どんどんめくってはっけん！からだのふしぎ」は、いわゆる飛び出す絵本のように触って出てくるような視覚的にも子どもの興味関心を誘うような本になっていますし、触るといふ触覚的にも良く、子どもの興味や関心を引き出すのに大変良いと思いました。「知りたい」「なぜだろう」といった興味を探求していく学習を無理なく進めていける構成になっていると感じましたが、特別支援を必要とする子どもたちにとって、どのような配慮がとられているのか教えてください。

次長（学校教育担当） この図書を選定された理由として、まずわかりやすいイラストと平易かつ分量の少ない文章であらわされているということ。ま

た、クイズや問いかけを受けて考える仕組みとなっています。すべては平仮名で表記され、繰り返しめくる部分は、ページを厚くし全体的に堅牢なつくりとなっているなどの配慮がとられていると聞いています。

教育長            その他にご質問やご意見はありませんか。

(全委員 質問等なし)

特にないようなので、次に進みます。

それでは、次に中学校特別支援学級で新たに選定された使用図書について事務局から説明をお願いします。

次長（学校教育担当）    中学校特別支援学級で新たに選定された使用図書について説明いたします。

別紙1では11ページから、別紙2では33ページからをご覧ください。今年度を使用している教科用図書において社会科1冊、理科3冊、保健体育科1冊、道徳科1冊、計6冊が供給不能となったため、一般図書から補充することを中心に作業を行い、今年度を使用している図書に加えて、社会科においては、『考える力がつく子ども地図帳＜世界＞』、理科においては、『小学パーフェクトコース？に答える！小学理科改訂版』、『母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室 野菜をつくろう』、『小学館の図鑑 NEO〔新版〕科学の実験 DVDつき』、そして保健体育科においては『運動が得意になる43の基礎レッスンイラスト版体育のコツ』、道徳科において、『キミたちはどう学ぶか？こどものための道徳学び方編』の新たに6冊が選定されました。

生徒の様々な障害の程度、発達段階、能力等に応じた教科用図書を準備するには、文部科学省著作本と検定本だけでは十分とは言えません。そこで、多様な障害の程度に合わせて選択の幅が広がるように追加する教科用図書に値する図書を選定するために調査を行いました。

当採択地区内における知的障害特別支援学級生徒の障害の内容や程度は多様であり、これらの生徒に可能な限り対応できるように配慮をしました。選定した各教科書は、学習指導要領に示された教科の目標や内容を踏まえており、生徒の生活に密着し、発達段階に即応したも

のであり、生徒が興味や関心、あるいは親しみをもって効果的に学習できるものとなりました。

来年度、新たに選定する図書については、別紙1の13から14ページで網掛けをして区分けしております。別紙2の36から38ページをご覧ください。社会科、理科、保健体育科、道徳科の具体的観点①から④までが示されています。これら4つの具体的観点到適するかについて一般図書の調査を行いました。

調査の結果について、それぞれの図書の特徴並びに各科の4つの具体的観点到基づいて報告します。別紙2の40ページをご覧ください。

まず社会科『考える力がつく子ども地図帳<世界>』について、この図書は、身近な生活にあるものを題材にするなど親しみやすく、長さ・高さ・面積の比較など、世界の地形をいろいろな角度から捉えることができ、生徒が興味関心をもって学習できる内容となっています。

多くのテーマについて、豊富な写真や絵でまとめられており、情報量も多く、世界地理について多面的に学習できるようになっています。巻末には、世界各国カルタがあり、国ごとの特色や首都、国旗も覚えることができ、発展的に学習できるようにもなっています。

目当てをもたせるための言葉や説明が平易で、すべての漢字にルビが振られています。また、問いかけや投げかけに沿って、自分でページをめくって調べられるため、生徒の生活経験や、行動範囲を広げていくために必要な情報を得ることができるものとなっています。

理科の一冊目『パーフェクトコース？に答える！小学理科改訂版』、この図書は、小学校の教科書の内容を核としながら、生徒自らが知りたい項目をもとに、理科につながる内容を系統立てて構成されています。

観点1に関しては、生活や自然の中で、テレビのニュースを見て、「疑問」に思った時に、すぐに調べやすいように構成されており、何気なくページをめくったときに目をひくようになっています。

観点2に関しては、理科の各分野（生命・地球・物資・エネルギー）の内容が掲載され、見出しは大きな字で探しやすく、知りたいことが

見つけやすくなっています。また、解説には、関連する用語や内容のページが表示してあり、次々と調べを進めることができ、知識のネットワークが広がるようになっています。

観点3に関しては、小学校3年生以上で学ぶ漢字にはルビが振られており、インターネットの表示では理解が難しい生徒でも、抵抗なく読めるよう配慮がされており、文字の大きさ、太さ、色などを駆使して、書いてある内容が分かりやすく、かつ大切な用語が印象に残り、覚えやすくなるような工夫がされています。

観点4に関しては、興味を引くイラストや図、写真を豊富に使用するなど、読みたくなる工夫がたくさんされています。各ページには、必ず写真やイラストなど視覚情報が盛り込まれており、文字が苦手な生徒にも親しみやすい構成となっています。

続いて理科の2冊目『母と子の手づくり教室 母と子の園芸教室 野菜をつくろう』。この図書は、生徒自らが知りたい野菜の栽培の仕方を調べることができ、その野菜を実際に栽培でき育ててみようとする意欲につながるものになっています。特に野菜それぞれの栽培の手順を統一して説明しているため、掲載されていない他の野菜や植物の栽培にも応用しやすくなっています。

身近で手軽な野菜の栽培方法がわかりやすく説明されており、野菜の栽培を通して自然に親しみながら、自然を大切に育てるような内容となっています。また、野菜の栽培を「種」、「容器と用土」、「種まき」、「間引き・土寄せ」、「収穫」に分けて作業のポイントが掲載されていて、すべての漢字にはルビが振られ、イラストや写真は見やすくレイアウトされ、植え付け時期と収穫時期がカレンダーに色付けされていることで、栽培時期を意識しながら、12か月のいつでも栽培できるように、育てやすい野菜18種類を掲載しているため、四季を通して学べるようになっています。

続いて理科の3冊目『小学館の図鑑 NEO〔新版〕科学の実験 DVDつき』。この図書は、簡単でおもしろい科学の実験・あそび・工作・手品などを通して、日常生活に関係の深い自然の仕組みや働きなど、初歩

的な事柄について学習することができます。また、DVD もついているので、科学の実験に興味を持つことに大変効果的です。

光、音、温度と熱、燃焼、力など、日常生活に関係の深い12のテーマに分けられており、分野別に科学実験が紹介されています。また、身近なものを使ってできる実験などを通して、自然の仕組みや働きが理解できるように工夫されています。

漢字にはルビが振られ、ゴシック体を使用しており、実験の手順や難易度、材料が写真や図で示され、実験の原理を紹介した「かがくのツボ」のコーナーが設けられているなど、発達段階に合わせて学習できるようにになっています。

5冊目、保健体育『運動が得意になる43の基礎レッスン イラスト版体育のコツ』。この図書は、小学校の体育で行われる主な種目を取り上げ、その練習方法をイラスト入りで紹介しています。初歩的な練習から徐々にステップアップして、最後には各種目がマスターできるようになっているので、順を追って練習することで生徒の意欲につながりやすい内容となっています。

走り、縄跳び、鉄棒、マット運動、跳び箱、泳ぎの6種類の運動や健康・安全についての理解を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てることができます。それぞれのページでは、できたらチェックマークを入れることができ、運動ができないときには、イラストを見ながらイメージトレーニングができるようになっています。また、練習する際の服装や熱中症対策についても触れられています。

すべての説明にイラストがあり、文字の量は少なく、生徒の興味や関心を喚起することができます。また、ウォーミングアップやクールダウンについても触れられていて、安全に体力の向上を図ることができます。

6冊目、道徳『キミたちはどう学ぶか？こどものための道徳(学び方編)』。この図書は、学校や日常生活で直面する、いじめ・仲間・勉強・やる気・ルールなどについて考え、議論する想定がされていて、読んで楽しく、親や先生、友達と話し考え合えるような内容となっています。

す。学校でどう学ぶか、どう友達と付き合うかなど、学校生活で起こる身近なことを、1時間の授業で、一つずつ考えるようになっていきます。

全ての漢字にはルビが振られていて、どの生徒にも読みやすく、疑問に対して二つの考え方を示し、自分の思いの方向性が選択できるようになっていて、対話形式で考えを広げるようになっています。オールカラー、イラスト満載で、見ているだけで場面のイメージがしやすく、興味・関心がもてます。

以上で説明を終わります。

なお、弱視学級については、通常学級で採択された教科用図書の拡大版と文部科学省著作本であります点字版の教科用図書を選定しています。

教育長           ただ今、中学校特別支援学級について説明がありましたが、ご質問、ご意見はございませんか。

山脇委員           中学校保健体育科について質問します。「運動が得意になる43の基礎レッスンイラスト版体育のコツ」では、初歩的な練習からステップアップしていき、無理なく順を追って練習できることから、運動する意欲が継続しやすいこと、また、できたことでチェックマークを書き込める工夫など、生徒の興味関心を意識した構成になっていることは評価できると思います。また、運動にふさわしい服装や熱中症防止のための記述も明示されており、安全に対する丁寧な対応も触れられています。ただ、イラストなどが二色印刷であり、昨今の時世を考えるとカラーや写真などの表現方法でもよかったのではないかと思います。その点について何か議論はありましたか。

次長（学校教育担当）   確かに、カラーや写真の良さもありますが、見せるべきポイントを焦点化させたり、視覚から入る情報量を適切な範囲に収めていくといった観点から、シンプルな表現手法の良さを評価されました。必要に応じて、カラーペンで書き込みを行ったり、マーキングしたりする際には、原画が淡色であるほうが良い場合もあり、活用の範囲を広げることも可能との報告も受けております。

山脇委員 わかりました。ありがとうございます。読みもの資料であると同時に、ワークシートとしての活用にも広げられるという意味においては、色の表現は読み手である生徒の皆さんが主体的に活用できるのもよい手法の一つだとわかりました。

教育長 その他にご質問やご意見はありませんか。

藤田委員 理科についてお伺いします。「小学館の図鑑NEO 新版科学の実験 DVD付き」は、文章では漢字にもルビが打たれて、小学生からでも読みやすく記述されています。実験の手順や難易度、材料が写真や図で示されているところも、それぞれの発達段階で無理なく学習に向かうことができる特徴があるといえます。先ほどの小学校の選定図書にもリストがあがっていましたが、小中学校で同じ図書が採択されているということはいずれの校種でも幅広い児童生徒にも効果的に活用できるということでしょうか。

次長（学校教育担当） この図書の特徴として、身近な生活や自然環境から遊び、工作、手品などの体験を通して興味関心を高めたり、発見する喜びが味わえる工夫が盛り込まれています。内容的には、小学生段階において感覚的に興味を示す内容から、音、光、温度・熱、燃焼、力などの12のテーマに分けて中学生が自然の仕組みや働き、法則に至る問題解決学習にも発展させていくことができる構成となっています。こうした意味から、科学の導入としての活用を小学生から、探究的な学びの支えとして中学生にも活用できる図書として、同時に選定の運びとなりました。

教育長 その他にご質問やご意見はありませんか。

教育長職務代理者 中学校社会科についてお聞きします。「考える力がつく子ども地図帳〈世界〉」は、大人でも興味関心を刺激され、楽しく読み物として読めるものです。そういう意味においては、文字としての情報量が多く、文字に対しての抵抗感をもつ生徒にとっては、サポートが必要になるかと思われませんが、いかがでしょうか。

次長（学校教育担当） 従来の地図とは異なり、世界を地球という視点からまとめることで、知識が広く網羅的にまとめられ、また、随所に「楽しい」



工夫が凝らされているので、幅広い発達年齢の子どもたちが学べる充実の内容となっています。また、世界が抱えている問題について、正しく考える土台となり、グローバルな感性が身につくと思われます。そうした意味では文字量がどうしても多くなってしましますが、それ以上に、生徒の興味関心を引き出し、効果的であるとの報告をうけております。合わせて、この図書の特徴として、巻末に「世界各国カルタ」が収録されており、国ごとの特色や首都、国旗などを遊びを通して学ぶことができ本誌の掲載内容に自然な形でつなぐことができる構成にもなっています。

教育長           その他にご質問やご意見はありませんか。

山脇委員       中学校理科について質問します。「母と子の園芸教室 野菜をつくろう」では、野菜を作ってみようと思ったとき、場所や作り方がわからなくてどうしようかと思うときでも、種、種まき、容器や用土、間引きや土寄せといった一連のお世話の仕方が丁寧に書いており、収穫までの見通しを持ちながら安心して取り組むことができる構成になっています。ただ、内容が丁寧であることからどうしても文字量が多くなってしまい、読むことに抵抗があったり支援を必要とする子どもたちにとって十分な効果が引き出されるか心配なので、このことについて意見が出ていたか教えてください。

次長（学校教育担当） 各ページとも一つの作物に対して見開き2ページで構成されており。そのレイアウトも共通となり、読み手に安心感をもたらせています。加えて、作業手順などはわかりやすいイラストで表現されており、読むことに抵抗を感じる子どもたちでも、無理なく視覚情報として理解を促します。さらに、ポイントや注意事項は吹き出しを用いて、効果的に印象に残りやすい工夫をしているのも選定された理由となっています。

教育長           その他にご質問やご意見はありませんか。

教育長職務代理者 中学校理科について質問します。「小学パーフェクトコース？に答える！小学理科改訂版」についてですが、本書は理科の内容を系統だてて構成された用語集となっていますが、この分厚さで文字量が多

くどうしても文字を中心に読み解くことになりますが、そういうことに抵抗や支援を必要とする子どもにとって、活用していくうえでの配慮について説明をお願いします。

次長（学校教育担当） 用語集という位置づけではありますが、小学校3年生以上で学ぶ漢字にはすべて読み仮名が打たれ、文字の大きさ、太さ、色なども読みやすくする工夫や配慮が講じられています。また、文字だけでなく、イラストや図、写真などを豊富に盛り込み、読みたくなる工夫や視覚情報の配慮が加えられていることも選定の理由と報告を受けています。

教育長 その他にご質問やご意見はありませんか。

野口委員 中学校道徳科についてお尋ねします。「キミたちはどう学ぶか？ 子どものための道徳 学び方編」についてお伺いします。道徳では「ねらい」とする価値項目があり、自分自身の振り返りを資料に登場する人物の心情に照らし合わせて表現したり、場面設定をして役割演技をしながら、ねらいに迫っていくものですが、本書は、読み手と書物との関係で価値に迫っていくプロセスを感じますが、具体的に授業の中でどのような活用方法がイメージされるのか教えてください。

次長（学校教育担当） 特別支援学級の生徒は、交流学級での集団で道徳科の学習を行うことや、特別支援学級での少人数の中で学ぶこともあります。本書は主に個別、または少人数での学びの場において活用されることを想定しています。学校や日常生活で直面する様々な悩みについて考え、議論することが想定されています。また、読むだけでなく、友達、教員、保護者と話し考えあうような展開につながる工夫もされています。対話形式で考えを広げていく過程で「考えるヒント」が示されていることも、大きな支援の一つと言えます。

教育長 その他に、ご質問、ご意見はございませんか。

（全委員 質問等なし）

たくさん意見や質問を出していただきありがとうございました。

最後に確認をいたします。初めに事務局から説明があったとおり、小学校、および中学校における通常学級のすべての教科用図書におき

ましては、今年度使用している教科用図書を引き続き使用することになります。よろしいでしょうか。

(全委員 質問等なし)

教育長 それでは、全体を通しまして何かご意見はございませんか。

(全委員 意見等なし)

教育長 特に無いようですので、採決を行いたいと思いますが、どのような方法で採決をさせていただいたらよろしいでしょうか。

教育長職務代理者 それぞれの教科用図書におきましてご意見をいただき協議しましたが、第二採択地区協議会の選定結果に異議のある意見はありませんでしたので、一括して採決する方法でいかがでしょうか。

教育長 今、松山教育長職務代理者から、一括して採決したらどうかという意見がありましたが、特に異議はございませんか。

(全委員 異議なし)

教育長 それでは、議案第60号について、原案のとおり可決することに賛成の方は、挙手を願います。

(全員挙手)

教育長 全員、賛成でありますので、本案については原案のとおり決定することとします。続きまして、(2)議案第61号令和4年第4回甲賀市議会定例会(9月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取については、本会議前につき非公開といたします。

(非公開)

教育長 それでは、(2)議案第61号令和4年第4回甲賀市議会定例会(9月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取について、資料2に基づき、説明を求めます。

教育部長 それでは、議案第61号令和4年第4回甲賀市議会定例会(9月)提出議案に係る教育委員会の意見聴取について、資料2に基づき、その提案理由を申し上げます。

本議案は、8月30日開会予定である、令和4年第4回甲賀市議会定例会(9月)に提出する議案のうち、教育に関する事務に係る議案について、過日ご審議いただいた議案以外に新たに1件、「甲賀市議会

の議決に付すべき財産の取得に関する議案」について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、意見を求めるものであります。

議案第61号 別紙1をご覧ください。1の「その他案件」といたしまして、甲賀市議会 第66号「財産の取得につき議決を求めるもの」についてであります。なお、別紙2には、市議会提出の議案書を添付させていただいておりますので、併せてご参照願います。

取得する財産は電子黒板で、去る8月19日に執行いたしました指名競争入札の結果、株式会社サンクス 代表取締役 山中賢治と、9,227万4,600円で物品購入契約を締結するものであります。

電子黒板はこれまで各校に1台から3台の配備状況でありましたが、今回の備品購入により、各校の全ての普通教室に配備されることになり、必要な時に自由に電子黒板を活用できる環境が構築でき、多様な授業形態を実現することが可能となります。

以上、令和4年第4回甲賀市議会定例会（9月）提出議案に係る教育委員会の意見聴取についての提案説明とさせていただきます。

ご審議のうえ、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

教育長 　　ただ今、議案第61号について、説明を受けました。何かご質問等ございませんでしょうか。

（全委員 質問等なし）

教育長 　　それでは、議案第61号について、決定することとしてご異議はございませんでしょうか。

（全委員 異議なし）

教育長 　　それでは、本案については、原案どおり決定いたします。

教育長 　　それでは、以上をもちまして、令和4年第12回甲賀市教育委員会臨時会を閉会とさせていただきます。どうもありがとうございました。

〔閉会 午後2時58分〕